

ICTの提供による社会の持続可能性と生物多様性への貢献

「電話番号変更取引」

富士通グループのSDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）は、先進国を含めた世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。その目標達成に向けて、民間企業の技術やイノベーション力を積極的に役立てていくことが強く求められています。富士通グループは、かねてより、共創を通じて持続的に社会にインパクトを与える成果を生み出す、「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」の実現を目指して、テクノロジーを活用するとともに新たなイノベーションを創造してきました。この活動と、国際社会がSDGsの達成に向けて取り組む方向性は、一致していると認識しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>

持続可能な開発のための2030アジェンダ

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための2030」は、平成27(2015)年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されました。

SDGs(Sustainable Development Goals)

2030年に向けて持続可能な開発に関する地球規模の優先課題などを明らかにした目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals : MDGs）とは異なり、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

環境との関連

複雑に絡み合う社会・環境課題に対応していくためには、環境・経済・社会の3つの課題を総合的に取り組む必要があります。環境省では、17の目標のうち、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等、少なくとも、12の目標が環境に関連しているとしています。

ICTによるSDGsへの貢献

富士通グループは、クラウドシステム、モバイルコンピューティング、電子政府など、様々なICTの提供を通じて、国内外のお客様とともに、SDGsへ貢献してまいります。



「環境貢献ソリューション」認定制度のご紹介

富士通は、富士通グループが提供するソリューション・サービスの導入によるGHG排出量の削減効果を定量評価し、削減効果が15%を上回る商品を「環境貢献ソリューション」として認定しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/sustainability-contribution-list/>



「電話番号変更取引」

- ・A銀行様に導入の「電話番号変更取引」システムは、ATMの勘定系業務の電話番号変更取引を実現する取引名称で、FIDO取引（スマホでQRコードを読み取り本人認証を行うサービス）で使用者の電話番号が事前に登録されていない場合、FIDO取引が取引不成立となる事象を事前に回避することを目的として、開発された取引システムです。電話番号登録作業の顧客記入伝票枚数および行員の電話番号登録手続き作業が削減されることによるペーパーレス化の推進、FIDO取引不成立時の顧客待ち時間の解消にも寄与します。

「環境貢献ソリューション」認定商品を拡大し、SDGsへ貢献します。

- ・「環境貢献ソリューション」の取り組みは、目標13：気候変動へのアクション（気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。）への対応として、推進しています。富士通グループは、「環境貢献ソリューション」の提供を拡大し、SDGsに貢献します。



「電話番号変更取引」による窓口業務の効率化と環境負荷の低減

システム概要

ATMによる「電話番号変更取引」システムを導入することで、FIDO取引の不成立件数の削減および窓口業務の効率化を実現します。従来、顧客の電話番号がシステムに登録されていない場合、FIDO取引が不成立となってしまうため、銀行のシステムに登録するか、もしくは窓口での登録処理を実施していました。当システムは、ATMで電話番号を変更できるようにすることでFIDO取引の不成立を未然に防止します。取引不成立件数が減少することで、行員の負担軽減とスピードアップ、伝票枚数の削減が図れます。顧客にとっては待ち時間および問い合わせ時間が大幅に短縮し、利便性が向上します。

これにより、伝票枚数削減によるペーパーレス効果は勿論のこと、行員の営業店端末の操作時間が短くなることから、ICT機器操作時間が短縮され、消費電力が減少することにより環境負荷の低減にもつながります。

効果

- ・ CO₂排出量の削減効果：約59%
- ・ 申請用紙枚数の削減：約490万枚削減
- ・ 顧客の待ち時間の短縮【登録受付】
1回あたり、10分程度 ⇒ なし
- ・ ICT機器消費電力の削減：約90%削減

※上記の効果は、現時点で富士通フロンテックが試算したものであり、お客さまの運用状況などにより結果が異なることを予めご承知おきください。

銀行様の声

～ お客さまの利便性向上と環境負荷の低減を推進します～

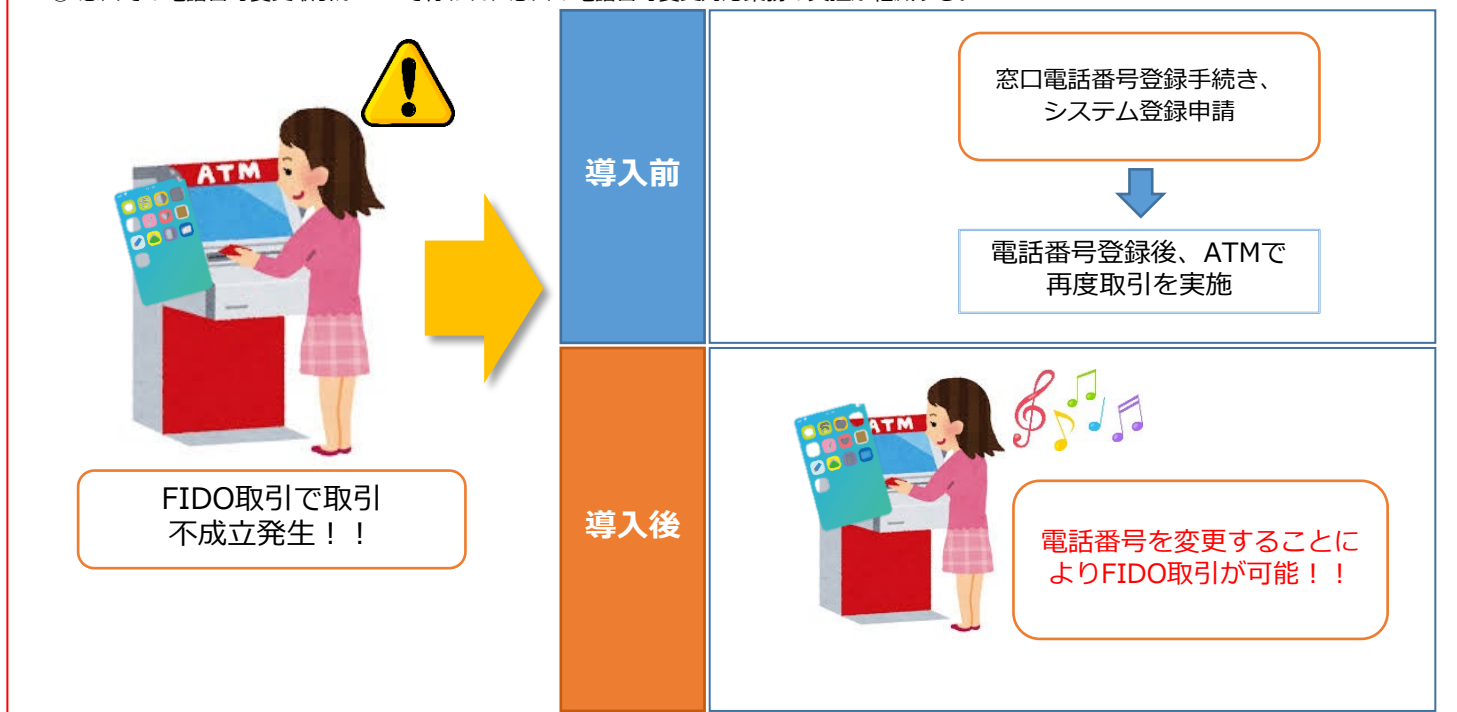
当初は、お客さまの利便性向上を目指し、窓口業務を効率化することで、融資や運用相談などでお客さまと向き合える時間を増やすことを狙っていましたが、伝票枚数削減によるペーパーレス化につながることは認識していましたが、エコという観点はそれほど意識していませんでした。

富士通さんの評価では、窓口業務を効率化することで、お客さまの待ち時間が短縮され、エアコンなど空調機器や窓口端末、現金機などの省エネ化も定量化されています。

今後も、お客さまの利便性向上を図りながら、地球環境に配慮し、地域に根ざす金融機関として努めてまいります。

「電話番号変更取引」システムの導入によって、何故、窓口業務の負担が軽減するのか？

- ① FIDO取引が正常に取引できるようになり、取引不能による窓口問い合わせの業務が軽減される。
- ② 窓口での電話番号変更取引がATMで行われ、窓口の電話番号変更対応業務の負担が軽減する。



お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社
ファイナンス&リテール事業本部 第一ソリューション事業部
Webによるお問い合わせ：<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/contact/>